

# 清流

14

No. 50

・発行 社会福祉法人 かんな会  
〒375-0014 群馬県藤岡市下栗須887-1  
TEL 0274-24-5885 FAX 0274-24-6855  
E-mail kannakai-98@triton.ocn.ne.jp

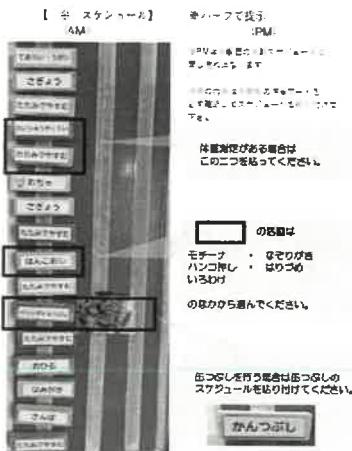
マロニエ利用者の方へ  
～統一した支援を目的に～

利用者の方への支援の取り組みについての報告を行っています。マロニエでは17名の利用者の方が活動しています。今回、報告の対象とさせて頂くのは、マロニエで取り組んでいる、「スケジュールの導入」、「職員の統一した支援」です。マロニエでは全員の利用者の方へのスケジュールの取り入れを行つております。一人ひとり個々に違うものであり、聴覚から情報が苦手で、且つ先の見通しがつきにくい、自閉症の人にとってはとても重要なものとなつてはとつています。どのような活動を行うのか、その流れはどうなつているのかを視覚的に情報を提供し、その人の分かれる形で提供していきます。日課を明確にし、先の予定を知らせることで、不安を軽減していきます。スケジュール形態も実物やイラスト、写真、文字等、提示の方法は様々です。ま

た扱い方も人により違います。提示してある活動内容のスケジュールを手に持ち活動場所に移動する人、スケジュールを目で見て確認し、活動の場所に移動する人様々です。スケジュールはしつかりと本人に理解しやすく、裏切りの無い形で提示しなくてはいけません。また日中に、変更が生じた際は、変更ツールを使用し、それらの事も伝えていきます。

次に統一した支援で最も大切なこととして、同じ支援提供をすることが、ルーチンでの行動が得意な自閉症の方が理解をしやすい形であるということです。また自閉症の人は変化、変更への対応が苦手な為、支援者によつて対応が違つてしまふと、混乱をすることもあります。その為、支援者は同じ形で、同じ対応をすることが重要です。マロニ工では統一した支援が出来るように個々に合わせた

ます。作成にあたつ  
本人をしつかりとア  
ントし、担当職員が  
成していきます。パ  
員含め、職員は基本  
の支援マニュアルに  
支援を行つていきま  
都度更新していきま  
援マニュアルの内容  
は、本人の特性、支  
う際の注意点、スケ  
ルの提示方法、スケ  
ル変更時の対応方法  
ジユール用の受けの  
法や設置のタイミング  
ケジユールの保管場  
ベント時の対応、作  
のセッティングの仕  
暇支援の提供の行い  
ークシステムの提示  
どが示されています  
職員だけでなく、パ  
員も支援にあたる為  
マニユアルは写真+  
文字で示されている  
ものが多いです。も  
ちろん利用者さんご  
とに示される内容が  
違つています。また  
全体的な統一事項や  
緊急的な事項などは  
「統一ノート」を活



### 昼食のセッティング(例)





藤岡市福祉支援センター  
〈生活介護事業〉

もくせい  
〈就労継続支援B型事業〉

(就労班・作業班)

(生活班・作業班)



生活介護作業班は、16名が作業中心の毎日を送っています。そんな中、月2回開催される音楽療法には作業班から5名参加し、歌や楽器の演奏を楽しんでいます。作業室では流れてくれる季節を彩る音楽をBGMに作業を進めます。そして、クリスマス会では、サンタの衣装の3名の音楽療法の先生をもくせい全員38名で迎えます。鈴やタンバリンなどを手に歌つて踊つて、サクソフォンの演奏を聴いたりと、音楽の力で皆の心が一つになるのを実感しました。

記…生活支援員 安積 美紀  
就労継続支援B型事業は、就労班6名、作業班14名、計20名の利用者さんが所属しています。就労班では、年末恒例となっているもくせいの大掃除を利用者さんと職員で行いました。道具を使うことが得意な方は窓や床掃除、細かい所の掃除が得意な方は流しや棚など場所を行い、皆で協力しながら限られた時間で綺麗にすることができました。また3月から就労班に新たな仲間が1名増えました。初めは慣れない場所で大変かと思いますが、皆と一緒に頑張っていきます。

令和6年度は、3月末時点では18名での活動となりました。コロナウイルスも世間ではまだ流行っているものの、しっかりと感染時の対応方法なども統一し、どう対応するべきか、感染を防ぐためにはどうしたらよいかなどをしっかりと身に付けることで、以前に比べると、多少なりとも不安



マロニー

サービス管理責任者  
飯島 裕



マロニー  
令和6年10月～令和7年3月の  
主なできごと

- |     |                                  |
|-----|----------------------------------|
| 3月  | 年度末大掃除(31日)                      |
| 4月  | いぢこ狩り<br>吉井町いちこちゃん家にて(2班に分かれて)   |
| 5月  | やすなる祭展示部門(7日)                    |
| 6月  | 餅つき・大掃除(27日)                     |
| 7月  | ゆつあいフェスティバル(8日～10日)              |
| 8月  | 救急法講習会(20日)                      |
| 9月  | クリスマス会(18日)                      |
| 10月 | インフルエンザ予防接種(10日)                 |
| 11月 | 保護者会(22日)<br>音楽会(30日)            |
| 12月 | 研究発表会(6日)<br>みかん狩り外出(3グループに分かれて) |

は減ったと思います。しかし集団で活動することも多いので、感染しはじめるときがくるのも早い時があります。マロニ工でも日々の予防に気を付けていきたいと思います。六年度の後期にも様々な行事がありました。音楽会では参加した職員、利用者さん全員で衣装を着ての参加でした。初めて衣装を着る方も、最後までそのまま参加することが出来ました。

利用者さんは、支援者、保護者のだけではなく、社会にあつの方の優しさを感じ受け入れ先の温かみを感じました。また毎年お世話になつているみかん狩りの観光園さんでも、「今年は不作だから早めに来てもらつた方が良いですよ」と事前に情報を頂きました。いちご狩りについてもスタッフの方の優しさを感じ、受け入れ先の温かみを感じました。

ボーラー

施設長 松井保隆



ポップラ  
令和6年10月～令和7年3月の  
主な奡わじと

1月	定期健康診断（1日）
2月	グルーブ別ミカン狩り外出 避難訓練（17日）
3月	クリスマス会、もちつき（27日） ゆうあいフェスティバル外出 新年会（23日） 地域支援セミナー（29日） グルーブ別いちご狩り外出 あすなろ祭（3月）
4月	高校卒業生2名新規受け入れ
5月	日帰り旅行（栃木、わんぱく公園 インフルエンザ予防接種（10日） 音楽会（30日）



県障害者芸術文化活動支援センターこ・ふあん主催のアートセミナーに参加し、他施設の方から情報を頂き、他施設が開催するアート展にも参加しました。いろいろ考えた結果すずかけ内でのアート展開催を決定しました。10月26日27日の2日間でしたが二百名近い来場者がありました。

また、3月には会遊亭でもアート展を行い80名の来場者がありました。今後も機会があればアート展参加やすすづかけ独自のアート展を開催したいと思います。

サービス管理責任者 久坂 英男  
作年度、工房あかね様にて保管していただいた絵画  
数百点がすずかけに移動。時期を同じくして地元企業  
様から絵画制作の依頼がありました。これを機に利用  
者様の作品をどうすれば皆様に知つてもらえるかを考

アート活動を通して社会との  
交流を深める

すずかけ

**沢山の善意  
ありがとうございます**

(かんなの里)  
荻野節子 柴山秀子 鈴木春美  
荻野元彦 柏原保次



寒暖差が激しい日々が続いています。こんな時に体調を崩しがちになるので注意が必要です。3月には、6年ぶりにあすなろ祭が会場開催になりました。利用者さん達は、とても張り切ってミュージカルを行えました。他の施設の人達も生き生きとしていました。やはり大勢の人が見ている所は、やりがいを感じていますね。これからも外への発信が大事だと思いました。

事故報告	
令和6年10月～令和7年3月	転倒
令和6年10月～令和7年3月	器物損壊
その他	薬関係
特にありませんでした。	苦情受付

(各事業所へ)  
P&G高崎工場